

令和6年度当初予算 概要

令和6年2月
港湾空港局

1 令和6年度 予算規模

(単位:百万円)

	令和6年度 当初予算案(A)	令和5年度 当初予算(B)	増減 (A)－(B)
一般会計	9,459	13,338	▲ 3,879
港湾整備 特別会計	5,109	4,190	919
土地取得 特別会計	11	120	▲ 109
空港関連用地 整備特別会計	3	3	0
臨海部産業用地 貸付特別会計	637	952	▲ 315
市民太陽光 発電所特別会計	105	112	▲ 7
合計	15,324	18,715	▲ 3,391

※一般会計については、職員給与費を含まない。

2 主要施策

「稼げるまち」

- ・ 港湾では、新たな港湾計画に基づき、機能強化と利用促進、2024年問題対応、港湾施設マネジメントの推進、風力発電関連産業の総合拠点化等に取り組む
- ・ 空港では、滑走路延長を契機とした国内外の航空物流貨物の取り込み、航空旅客ネットワークの拡大、機能強化と魅力向上等に取り組む

「彩りあるまち」

- ・ 国内外からの観光客を呼び込むため、北九州市の玄関口である港湾と空港のイメージアップに取り組む

「安らぐまち」

- ・ 市民の安全・安心を守るため、港湾において防災・減災機能の強化等に取り組む

1 北九州港

(1) 北九州港の機能強化

アジアをリードする「物流拠点」を目指し、コンテナターミナルの機能強化（太刀浦地区）やフェリー・ROROの拠点化（新門司地区）に取り組み、稼げる基盤をつくる。

《主な事業》

- ・ 新規) 新門司地区ROROターミナル機能強化検討事業(特会) 【28百万円】
- ・ 新規) 太刀浦地区施設整備調査検討事業 【10百万円】
- ・ 拡充) 太刀浦コンテナターミナルクレーン更新事業(特会) 【737百万円】



【新門司フェリー・RORO基地】



【太刀浦コンテナクレーン】

(2) 北九州港の利用促進

北九州港の航路維持・拡大及び集貨拡大を目的として、新たな航路・貨物に対する補助を行う。

《主な事業》

- ・ 新規) 海上モーダルシフト促進事業 【7百万円】
- ・ 拡充) 港湾利用促進支援事業(特会) 【89百万円】



【フェリー・RORO船】

(3) 港湾施設マネジメントの推進

港湾施設の集約・利用転換、民間活力の導入による施設の再配置を行うことを目的として、計画作成に必要となる現地測量や利用状況の調査・分析等を行う。

《主な事業》

- ・ 新規) 港湾施設マネジメント推進事業(特会) 【22百万円】
- ・ 拡充) 港湾施設マネジメント推進事業 【8百万円】

(4) 風力発電関連産業の総合拠点化

洋上風車の積み出しなどの機能を担う基地港湾、特殊作業船（SEP船等）基地、産業用地への企業誘致に必要な公共インフラの整備を行う。

また、響灘西地区において、浮体式拠点形成に向けた活用方法の検討に必要な測量や地質調査を行う。

《主な事業》

- ・新規) 響灘西地区埋立地活用検討事業 【19百万円】
- ・拡充) 響灘東地区埋立地整備事業 【871百万円】
- ・響灘洋上風力発電拠点化推進事業 【9百万円】



【風力発電関連産業の総合拠点化のイメージ(響灘東地区の一部)】

(5) カーボンニュートラルポート（CNP）の形成

官民連携による港湾脱炭素化の取組の創出や推進を目的として、港湾脱炭素化推進協議会の開催や船舶の脱炭素化に必要な陸上電力供給施設の導入検討等を行う。

《主な事業》

- ・カーボンニュートラルポート(CNP)推進事業 【10百万円】

(6) みなとの賑わいの創出

みなとを核とした賑わいの創出のほか、ブランド力の向上や国内外の観光客の呼び込みを図る。

《主な事業》

- ・拡充) クルーズ船誘致・受入事業 【41百万円】
- ・新規) みなとオアシス推進事業 【2百万円】



【クルーズ船】

(7) 防災・減災対策

高潮の災害から立地企業を守ることを目的として、護岸整備（新門司地区）を行う。

《主な事業》

- ・拡充) 海岸（高潮）事業 【50百万円】



【新門司地区】

2 北九州空港

(1) 旅客・アクセス

旅客便・貨物便の受入に向け、地上支援業務従事者不足の解消を目的に、通勤環境改善などの新規雇用促進支援を実施する。

バス、鉄道などの多様な交通手段を生かした空港アクセス強化を目的に、エアポートバスの増便(小倉・朽網)や鉄道との乗継強化、バス待合環境向上などを実施する。

《主な取組み》

【旅客】

- ・新規) 空港受入体制強化事業 【14百万円】
- ・新規) 航空路線支援事業 【135百万円】
- ・国内集客促進事業 【26百万円】

【アクセス】

- ・新規) 空港アクセス強化事業 【120百万円】
- ・空港アクセス事業 【132百万円】
- ・新規) イノベーション空港推進事業 【5百万円】



【国内外の航空機】



【エアポートバス】

(2) 貨物

2024年問題や脱炭素社会など、次世代物流の構築を目的に、国内貨物定期便の集貨支援や半導体貨物への重点的な集貨支援を実施する。

《主な取組み》

- ・新規) 次世代航空物流構築事業 【65百万円】
- ・航空物流支援推進事業 【308百万円】



【国内貨物定期便】

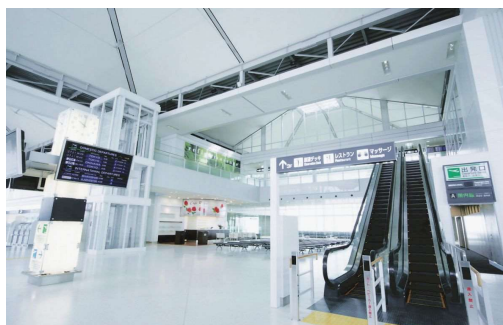
(3) 機能強化

市の認知度向上・ブランディングを目的に、魅力ある旅客ターミナルビルへのアップデートに向けた、調査・検討を実施する。

滑走路延長を機に、長距離運航便の就航に向け、空港の機能強化を目的に、航空燃料タンクの増設などの必要な施設整備に関する調査を実施する。

《主な取組み》

- ・新規) 空港ターミナルビル魅力向上事業 【2百万円】
- ・新規) 次世代空港機能強化検討事業 【15百万円】



【旅客ターミナル】



【国内第2貨物上屋】

3 主な事業

「稼げるまち」の実現

●稼げる「基盤」をつくる

北九州港

新規	・新門司地区ROROターミナル機能強化検討事業	28百万円
	2024年問題等によるフェリー・RORO貨物の輸送需要への対応及び物流拠点機能強化を目的として、新たなターミナル整備や用地取得に向けた調査等を実施	
新規	・太刀浦地区施設整備調査検討事業	10百万円
	太刀浦コンテナターミナルの効率化を目的として、埋立地を活用した機能強化の検討や調査を実施	
拡充	・太刀浦第2コンテナターミナルコンテナクレーン更新事業	737百万円
	荷役作業の効率化と港湾機能の強化を図るため、太刀浦第2コンテナターミナルのコンテナクレーン更新工事を実施	
新規	・海上モーダルシフト促進事業	7百万円
	2024年問題の解決と物流における環境負荷低減の促進を目的として、陸上輸送から海上輸送への転換を図るため、フェリー・RORO航路を初めて利用する事業者への補助を実施	
拡充	・港湾利用促進支援事業	89百万円
	北九州港に寄港する船会社の航路維持・拡大及び集貨拡大を目的として、新たな航路・貨物に対する補助を行うほか、令和6年度から日本海航路の安定化と集貨促進のため、補助対象を国内航路・貨物に拡充	
新規	・港湾施設マネジメント推進事業(特会)	22百万円
	港湾施設の集約・利用転換、民間活力の導入による施設の再配置を行うことを目的として、計画作成に必要な現地測量や利用状況の調査・分析等を実施	
拡充	・港湾施設マネジメント推進事業	8百万円
	施設の集約・維持管理費の抑制及び民間投資による収入増加を図ることを目的として、将来の利用が見込まれない土地について、測量や調査を実施し、積極的に民間への売却及び貸付を実施	
	・カーボンニュートラルポート(CNP)推進事業	10百万円
	官民連携による港湾脱炭素化の取組の創出や推進を目的として、港湾脱炭素化推進協議会の開催や船舶の脱炭素化に必要な陸上電力供給施設の導入検討等を実施	
拡充	・響灘東地区処分場整備事業	2,200百万円
	港湾物流の基盤となる航路泊地の浚渫で発生する土砂や、市民生活などから排出される廃棄物を最終的に処理する処分場を整備するため、護岸工事を実施	

北九州空港

新規	・空港受入体制強化事業(苅田町連携)	14百万円
	旅客便及び貨物便の受入に向け、地上支援業務従事者不足の解消を目的として、通勤環境改善などの新規雇用促進支援を実施	
	・新規航空路線支援事業(県・町連携)	135百万円
	新規航空路線の誘致や就航路線の安定化を目的として、航空会社への運航支援や利用促進などの取組みを実施	

	・国内線集客促進事業(苅田町連携)	26百万円
	ビジネス需要を補完する新たな旅客需要の取込みに向け、国内基幹路線の羽田線の利用促進を目的として、早朝深夜便の利用促進や首都圏共同プロモーションなどの取組みを実施	
新規	・次世代航空物流構築事業(県・町連携)	65百万円
	2024年問題や脱炭素社会など、次世代物流の構築を目的として、国内貨物定期便の集貨支援や半導体貨物への重点的な集貨支援の取組みを実施	
	・航空物流支援推進事業(苅田町連携)	57百万円
	集貨ルートの確立や特殊大型貨物(シー&エア輸送)の取込みを目的として、トラック経費の支援(空港と物流拠点施設間)や他空港に比べ不足する人材・機能面の支援などの取組みを推進	
	・航空物流支援推進事業(県・町連携)	251百万円
	大型貨物定期便の誘致・安定化や貨物の取込み、通関機能の確立を目的として、航空会社への運航支援や貨物重量に応じた集貨支援、通関体制構築に伴う人件費等支援の取組みを実施	
新規	・空港アクセス強化事業	120百万円
	バス、鉄道などの多様な交通手段を生かした空港アクセス強化を目的として、エアポートバスの増便(小倉・朽網)や鉄道との乗継強化、バス待合環境向上などの取組みを実施	
	・空港アクセス事業	132百万円
	空港アクセス利便性の確保を目的として、主幹交通であるエアポートバスなどの運行支援の取組みを実施	
新規	・イノベーション空港推進事業	5百万円
	空港を起点に、航空利用者をはじめ、地域に新たな価値を生み出すことを目的として、最先端技術の活用(SAF拠点、空飛ぶクルマ、水素燃料航空機、空港脱炭素化等)による空港の競争力強化・差別化に向けた調査を実施	
新規	・次世代空港機能強化検討事業	15百万円
	滑走路延長を機に、長距離運航便の就航に向け、空港の機能強化を目的として、航空燃料タンクの増設などの必要な施設整備に関する調査を実施	
新規	・空港ターミナルビル魅力向上事業	2百万円
	市の認知度向上・ブランディングを目的として、魅力ある旅客ターミナルビルへのアップデートの取組みに向けた調査・検討を実施	

●稼げる「産業」をつくる

北九州港		
新規	・響灘西地区埋立地活用検討事業	19百万円
	風力発電関連産業の総合拠点化を目的として、響灘西地区(4区画)埋立地での浮体式拠点形成に向けた活用方法検討に必要な現地測量及び地質調査を実施	
拡充	・響灘東地区埋立地整備事業	871百万円
	風力発電関連産業の総合拠点化を目的として、響灘東地区産業用地への企業誘致に必要な公共インフラ整備(道路、水道、送配電施設)及び産業用地の地盤改良・整地を実施	
	・響灘洋上風力発電拠点化推進事業	9百万円
	風力発電関連産業の総合拠点化を目的として、響灘東地区産業用地への企業誘致活動や風力発電の普及・啓発活動を実施	

「彩りあるまち」の実現

●彩りある「時」をつくる

北九州港

拡充 ・クルーズ船誘致・受入事業 41百万円

国内外のクルーズ船社等に誘致を働きかけ、安全安心な受入を実施するとともに、乗船客を市内へ誘導することにより、市内経済の活性化を促進

新規 ・みなとオアシス推進事業 2百万円

みなとのにぎわいを創出することを目的として、企業や関係団体と連携し、海やみなとに親しみを持ってもらえるイベントを実施

「安らぐまち」の実現

●生活基盤の「安心」を支える

北九州港

拡充 ・海岸(高潮)事業 50百万円

高潮の災害から立地企業を守るため、護岸整備(新門司地区)を実施

【問合せ先】

港湾空港局 総務課
奥村(課長)、高野(係長)
TEL 093-321-5916